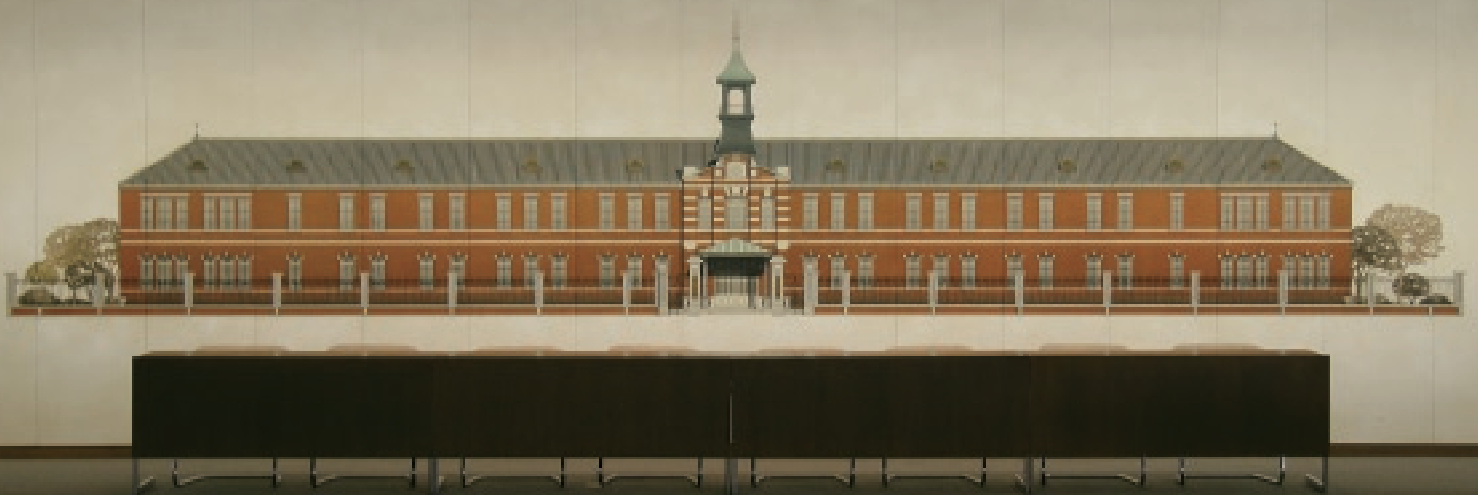


じんげん ア ジ ー ル asile

大谷大学広報誌
Autumn & Winter 2011



生きる力、生きぬく力を、
実践のなかで学ぶ。

This theme

ボランティア

VOLUNTEER

2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に

今、あらためて「ボランティア」にスポットが当てられています。

人間学を教育理念とする本学においても、

さまざまなボランティア活動を展開。

そのなかでの「気づき」や「学び」について、語り合いました。

それぞれの活動と

参加理由

古川 今回は本学で行われているボランティア活動に携わっている、3人の学生諸君が集まっていたきました。まずは、それぞれの活動について聞かせてください。

辻 私が参加したのは、大学教職員有志主催の震災復興ボランティアです。大学のバスで宮城県石巻市に向かい、被災地支援の活動を行いました。

久門 私は、本学に通う障がい学生を支援する活動に携わっています。「ノートテイク」「板書テイク」と呼ばれるもので、聴覚や身体に障がいのある学生が滞りなく授業を受けられるよう、利用者と一緒に授業

に参加し、講義内容や雑談など教室内の状況を文字にして伝えたり、板書や映像教材の内容を記録したり、さまざまな面でサポートします。

森 私が行っているのは、学校ボランティアです。小学校に赴き、児童とふれあいながら授業補助や運動会などをサポートするもので、教職を目指す私にとって、とても貴重な学びの場となっています。

古川 そもそも、なぜボランティアを始めようと思ったのでしょうか？

辻 実は、私の実家が秋田で、岩手県には親戚が暮らしていました。私にとって震災は決して「他人事」ではなく、少しでも役に立ちたいという思いで、参加を決意しました。

久門 私の場合は1年生の時の、視



覚障がいのある学生との出会いです。移動に困っていたその学生を目的の教室まで案内したことが、「支援」という活動を始めるきっかけです。

森 1年生の時の「初等教育実践論」という授業で、小学校でのボランティアを行ったのが始まりでした。実際の

教育現場や児童とのふれあいのなかで、教室内だけでは知り得ない、いろいろなことを学びました。

辻 私も被災地の惨状を目の当たりにして衝撃を受けたのですが、「想像」と「現実」の大きなギャップを痛感させられますね。



「現実」と向き合つて 気づくこと

古川 TVなどで震災報道はされて
いましたが、画面では伝わらないこと
も多いでしょうね。実際にはどういっ
た点が想像と違いましたか？

辻 たとえば「臭い」です。私たちが
訪れたのは震災発生後3ヶ月が過ぎ
た6月で、がれきなどはかなり撤去
されてはいましたが、津波によるヘ
ドロなどの悪臭は想像以上でした。
また、粉塵も酷く、マスクなしでは
いられないほどでした。

古川 そんな中で被災地の方々は
日々生活しておられるのですね。「現
実」を知ることです。初めて見えてくる
ものがある…それは久門さんや森さ
んの活動でも言えると思います。



学生部長
国際文化学科 准教授
古川 哲史



真宗学科 第4学年
辻 真弘



哲学科 第3学年
久門 紀子



教育・心理学科 第2学年
森 翔輝

久門 そうですね。ノートテイクを
始めた当初、「困っている人を助ける」
という意識がありました。でも、障
がいのある方とふれあうなかで、支
援というのは一方的なものではなく、
相互関係なのだと気づきました。

誰かの役に立つという気持ちは大事
ですが、自己満足ではなし得ない。
お互いの理解や共有が必要です。

森 学校ボランティアも同様です
ね。教師という職業は人に教える立
場ですが、一方的に与えるものでは
なく、児童と共に学び成長してい
くものだと感じています。

辻 被災地での支援も、単に「助け
る」という一方的なものではないよう
に思います。大きな災害はどこにで
も起こりうるものです。被災地での
問題や課題を共に考え解決してい

ことが、本当の意味での支援なのか
も知れませんが。

古川 皆さんの「気づき」は、とても
深い意味を持つと思います。人は他者
や社会との関わりをなかで、関係性
や社会性を築きながら生きていくも
のです。それは、相手や周囲を理解し、
自分がどうあるべきかを問いつける
ことでもあります。ボランティアを単
に経験するだけでなく、そこで得た
ものをどう掘り下げていくかが重要
です。皆さんはどう考えますか？

実践の中で学ぶ 生きる力

分自身の意識が大きく変わりました
ね。児童のなかにはボランティア学
生を受け入れる児童とそうでない
児童がいます。それぞれとどう接し
ていくか、最適な距離感とは何か、
とても考えさせられました。ボラン
ティアの経験は、この先教師として
活動していく上で、大きな力になっ
てくれると感じています。また、実践
の中で学ぶ楽しさを少しでも多くの
学生に伝えていけるよう、これから
も努力していくつもりです。

久門 ノートテイクをはじめ、よ
り多くの学生にボランティア活動に
参加して欲しいですね。

辻 2人の活動内容やお話しも、
とても参考になりました。私自身
はまだ将来の目標は定まっていませ
んが、被災地での経験を通して人が
生きるとはどういうことなのかを、
あらためて見つめ直しています。

久門 先ほど、支援とは相互関
係だと述べましたが、そのためには
自己の価値観だけにとらわれず、広
い視野を持つことが大切だと思っ
ています。実は、ノートテイクの活動
を機に、視覚障がい者をサポートす
る「ガイドヘルパー」の資格を取得し
ました。そこでは実際にアイマスクを
して「見えない状況」を体験するの
ですが、これまで当たり前だった視
覚情報が得られないということがど
ういうことなのか、サポートするた
めには何が必要なのかを実感しま
した。それを、今後の活動に活かし
ていければと思っているところです。

森 私も、児童とふれあうなかで自
己と向き合い、問い直し、また次の学
びへとつなげていく…その「往復運
動」こそが「学ぶ」ということの基本
姿勢でしょう。学生にとつてのボラン
ティアは、生きる力、生きぬく力を、
実践のなかで学ぶことだと言えるで
しょう。

紫明祭 2011

今年のテーマは

「Say! 楽しい祭」
祭りの出会いも多様の縁

今年もこの季節がやってきました！
秋と言えば紫明祭！ 大学内
が活気に溢れる時期が近づいてき
ましたね。

準備に残された時間は少なくなっ
てきましたが、紫明祭を楽しんでい
ただけるよう、委員一同日々頑張っ
ています。

今年のテーマは、「Say! 楽しい
祭」祭りの出会いも多様の縁」。
イベントが盛りだくさんの紫明
祭にピッタリな、たくさんさんの想いを

込めたテーマになっています。

「Say!」には、祭りに欠かせない
掛け声のように、「やる気」や「勢い」
を、そして「楽しい祭」には、その
名のとおり、3日間笑顔の溢れる
紫明祭になりますようにとの想い
を込めています。

また、サブタイトルの「縁」祭りの
出会いも多様の縁」には、祭り
は切り離せない、人と人との縁につ
いて、紫明祭を通じて出逢った縁に
多くの幸せを感じて欲しいという
願いを込めました。

紫明祭にお越しいただいたみな
さんの数だけ、思い出がある！

ぜひ、紫明祭にお越しいただき、
最高に笑顔になれる思い出をつく
りにきてください！ お待ちして
おります！



学園祭実行委員会委員長
人文情報学科 第3学年
弘田 千恵

紫明祭 2011 イベントスケジュール

11月11日(金)

前夜祭

17:00~19:30

2011年度学園祭「紫明祭」を盛り上げるための
前哨戦としてダンスやピンゴ大会等を予定。



11月13日(日)

仮装カーニバル

第I部 10:00~12:00
第II部 13:00~14:00



総務局長
歴史学科 第2学年
都馬 由起子

スタンプラリー開催!
大学内にいる
仮装した人を見つけて
賞品をもらおう!!

11月12日(土)

たに 籠ステ~大谷ミュージックステーション~

16:00~19:30

学内や他大学の
音楽団体の生ライブ。
投票してくれた人にも
賞品プレゼント!

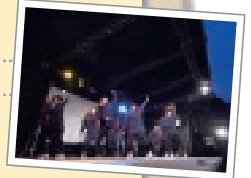


企画局
人文情報学科 第2学年
窪 浩子

プロコンサート

17:00~

企画局
国際文化学科 第1学年
江湖 久晃



大学主催イベント

12日(土)

課外教育行事 - 異文化との出会い-
インド舞踊と音楽

13:30~(90分程度)

12日(土)・13日(日)

各クラブの日頃の活動成果を
展示・発表。
またキャンパス内には、
50以上の模擬店も出店予定。



12日(土)

13日(日)

東日本大震災復興支援ボランティアによる展示

6月~7月にかけて行った現地復興支援の様子を、写真展示
等で紹介します。また学園祭実行委員会では、学園祭期間中
に募金箱を設置する等、復興支援に取り組みます。



●紹介してくれたみなさん・国際文化学科第3学年 写真右より 玉置智さん／奥野あゆみさん／遠山弓菜さん

私たちの先生

多彩で興味深いオリジナル教材と
 厳しくも温かい人柄で、幅広い知識と教養を学習！



国際文化学科 教授 アルブレヒト デッケ・コルニル

Albrecht Decke=Cornill

ドイツ観念論哲学と神学をもとにして、文学・絵画・政治等の諸問題を総合的・人間学的に研究。

主な研究テーマ(1)ジャン・パウルにおける自意識の問題、(2)ルター派神学におけるカント受容の諸相など。
 専門／ドイツ文学・哲学

デッケ先生のゼミのテーマは「ドイツの首都ベルリン」。1900年、現在に至るまでの歴史や文化、政治、芸術、文学など、さまざまな視点から学び、ドイツ語学はもちろん幅広い知識と教養を身に付けることができます。

そんなデッケ先生の授業の、大きな特徴のひとつが多彩なオリジナル教材。テキストだけでなく、写真、映像、音声とさまざまで、ヒトラーのスピーチ映像や歴史的なベルリンの街並みといった貴重な資料や、ドイツ映画のDVD、チャンネルのCDなど、どれをとっても興味深く楽しく授業を受けられるのです。ベルリン出身のデッケ先生だからこそ「生きた教材」は、私たちにたくさんを学ばせて

くれます。

そして、もう一つの特徴が、デッケ先生の人柄からくる温かいコミュニケーション。身長190cmの迫力に、最初は「とつきにくい」印象を受けますが、話してみるととても親しみやすくフレンドリー。勉強以外にも何でも相談できる「お父さん」のような存在です。

ドイツ語で書かれたテスト問題やたくさん課題といった厳しい面もありますが、「訳と解釈」を通して実践的な語学力と考察力が鍛えられ、将来社会で生きていく上で役立つ表現力やプレゼンテーション力も養うことができます。

来年夏休みには研修旅行でベルリンを訪れる予定。ゼミで学んだドイツへの旅が、今から楽しみです。

先生から 学生たちへの メッセージ

明治時代に日本は近代的西洋学問と大学教育システムの多くをドイツから取り入れたため、近年まで日本の大学はドイツの言語と文化が重要な講義テーマでした。しかし現在は英語の世界標準語化が進み、ドイツ語に対する関心も低くなりがちです。

このような状況で、私の授業はどんな意義があるのでしょうか？

ドイツ人である私は、大谷大学で「外人」代表の一人であり、大学で接することのできるカルチャー・シフトのひとつです。そのような「外人」経験によって、今までは異なる人との接し方があることを知るでしょう。語学力が足りなくても、「外人」とやっつけていけるのだという自信をつけましょう。



キャンパス トピックス

Spring ▶▶▶ Summer

2011

TOPICS トピックス

4月9日(土)

新入生歓迎祭 「若葉祭」の開催

新入生を歓迎する「若葉祭」が開催されました。

各クラブのパフォーマンス、ダンスや音楽の楽しいライブで盛り上がり、また学内の至るところで新入生を勧誘する様子が見られるなど、例年以上に活気あふれる若葉祭となりました。



6月28日(火)

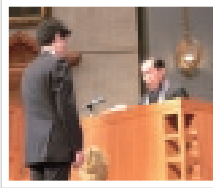
大谷大学

奨学生証書授与式を挙行

6月の御命日勤行講話に引き続き、「大谷大学奨学生証書授与式」を講堂にて執り行いました。

本学では、その勉学と人間育成を奨励し、前途有為な人物を社会に送り出すことを目的として、人物学業成績が特に優秀な学生に育英奨学金を給付しています。授与式では、文学部、短期大学部、大学院修士課程・博士後期課程の育英奨学生に対し、草野顕之学長より奨学生証書が授与されました。

また、草野学長から、「本学の建学の精神を忘れずに勉学・研究に邁進してほしい」と奨学金に込められた願いを語るとともに、奨学生に激励のメッセージが送られました。



7月15日(金)

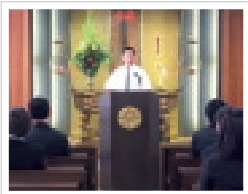
石間奨学金

奨学生証書授与式を挙行

「石間奨学金奨学生証書授与式」が尋源講堂にて執り行われました。今年度は、16名の方の出願があり選考のうえ、六川直樹さん(人文情報学科第4学年)、藤本茉莉さん(仏教科第2学年)、栗生奈津子さん(幼児教育保育科第2学年)の3名が奨学生に採用されました。

5年前から始まった石間奨学金は、石間裕氏からの寄付金を財源としており、大谷大学・大谷大学短期大学部での学びに強い意欲を持ちながらも、学費の支弁が困難な最終学年の学生に対して給付されるものです。

奨学生証書授与式終了後には、懇談会が行われ和やかな雰囲気の中意見交換がされました。



その他2011年度のニュースはこちら → 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/2011>

バドミントン部

関西学生バドミントン春季リーグ戦(男子)
5部 6位(降格)

関西学生バドミントン春季リーグ戦(女子)
5部Aブロック 優勝

関西学生バドミントン選手権大会
女子ダブルス Bクラス 3位
三田 幸奈 / 人文情報学科第4学年
植谷 美月 / 哲学科第2学年
女子シングルス Bクラス 3位
植谷 美月 / 哲学科第2学年

陸上競技部

第75回
京都学生陸上競技対校選手権大会
女子円盤投げ 5位入賞
中村 安稀穂 / 教育・心理学科第2学年

空手道部

第45回
関西学生空手道個人選手権大会
一般男子 -75キログラム級組手
ベスト16
高野 隼 / 哲学科第2学年

サッカー部

第89回関西学生サッカーリーグ(前期)
2部Bブロック 7位

第40回関西学生サッカー選手権大会
3回戦敗退

スキー競技部

第38回全国学生岩岳スキー大会
女子個人演技新人戦 7位入賞
草野 綾 / 教育・心理学科第2学年

卓球部

関西学生卓球春季リーグ戦(男子)
4部Aブロック 3位

硬式野球部

京滋大学野球連盟春季リーグ戦
1部 5位

バレーボール部

関西大学バレーボール春季リーグ戦
(男子)
6部 3位

2011年度春季大会結果

Campus Information

◆◆ 東日本大震災に関わる復興支援

本学では、東日本大震災の復興支援として、学生会・教職員の募金、および「2010年度 卒業・修了並びに同窓会新入会員歓迎祝賀会」の経費相当額を、義援金として日本赤十字社を通じて寄付させていただきました。

また、被害に遭われた在学生、2011年度新入生、および保証人(学費負担者)の方に対して、「天災等による学費免除・減額の取扱施行細則」により対応することに加え、その他の諸経費の減額等の特別措置を右記の通り講じるとともに、併せてお見舞金をお送りさせていただきましたので、お知らせします。



大学構内での募金活動の様子

◆ 学生会・教職員による募金活動

2010年度卒業式	2011年3月18日(金)	302,136円
2011年度入学式	2011年4月1日(金)	117,915円
募金箱	2011年6月15日(水)現在	1,093,343円
合計		1,513,394円

※募金活動は、10月以降も継続する予定です(詳細未定)。

◆ 「2010年度 卒業・修了並びに同窓会新入会員歓迎祝賀会」等の義援金

大谷大学・大谷大学短期大学部	4,000,000円
大谷大学同窓会	1,500,000円
大谷大学教育後援会	1,930,000円
合計	7,430,000円

◆ 2011年度前期学費免除・減額および大学・教育後援会見舞金

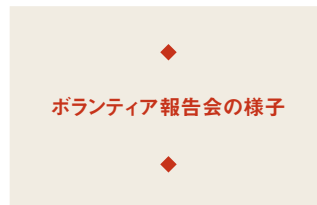
合計	9,035,750円
----	------------

◆◆ 「東日本大震災 復興支援ボランティアバスツアー」を実施

本学の教職員有志が中心となって「東日本大震災 復興支援ボランティアバスツアー」を実施いたしました。この活動では、教職員有志が学生・教職員の参加者を募り、真宗大谷派(東本願寺)現地復興支援センターの協力を得て、6・7月の3回にわたり、宮城県石巻市などで家屋の泥の除去・側溝の清掃活動等を行いました。

また、7月25日(月)に、このボランティア活動に関する報告会を開催いたしました。バスツアーに参加した学生や教員から、活動内容の紹介や現地で感じた思いを率直に語ってくれました。

また、7月25日(月)に、このボランティア活動に関する報告会を開催いたしました。バスツアーに参加した学生や教員から、活動内容の紹介や現地で感じた思いを率直に語ってくれました。



人 事 情 報

◆ 依願退職

【事務職員】

禿 義裕 (学生支援部) 2011年5月31日付
岡田 文雄 (企画・入試部) 2011年6月30日付

【事務系嘱託】

伊藤 景子 (教育研究支援部) 2011年8月31日付
弓削 絵理 (企画・入試部) 2011年9月30日付

◆ 採用

【教育職員】



鷺田 清一
(教授・文学部)

2011年9月1日付

【事務系嘱託】



本多 美沙子
(企画・入試部)

2011年9月1日付

キャリアガイド

現在の就職環境

現在の就職環境は、長引く経済不況などの影響を受け、就職氷河期の再来ともいえる厳しい状況が続いています。2012年3月卒業予定者に対する有効求人倍率は、昨年の1.28倍よりさらに低下し、1.23倍(1人に対して、1.23社からの求人)となっています。

また、東日本大震災の発生に伴い、大手企業など全国規模で定期採用をする企業の約1/4が採用試験を1~2ヵ月延期したために、中小企業を中心に秋採用活動を実施する企業が増え、活動が長期化しています。

今後の動向

早期化する就職活動が修学上障害となっているという観点から「倫理憲章」が改定され、2013年3月卒業予定者より活動の時期が一部変更されます。従来、10月1日から開始されていた企業による広報活動は12月1日以降、選考活動は4月1日以降と定められました。しかし、学生が企業にアプローチし始める時期は遅くなるものの、応募書類提出や筆記試験の時期は変わらず、企業研究等の期間が短くなりそうです。また、近年の採用活動が面接重視の傾向であることから、採用活動

期間の短縮により、書類選考や筆記試験の基準が厳しくなることも予想されます。

したがって、これまで以上に本格的な採用活動が始まるまでの事前準備が選考結果に大きく影響することとなります。すなわち、学業や課外活動など日頃の学生生活を通して、特に社会人に求められる「基礎学力」「コミュニケーション力」「主体性」「協調性」などを養うことが肝要です。

保護者の皆さまへ

厳しい就職環境の中、学生諸君は初めての経験で不安や戸惑いから大きなストレスを抱えて活動するため、特に保護者からの励ましが大きな力となります。例年、就職活動を終えた学生から「聞き役になり、背中を押してくれた」「社会人としてアドバイスをくれた」という声が聞かれるように、学生にとって保護者は「ホッとできる場所」です。自らの夢に向かう学生諸君をご家庭でもサポートしていただければ幸いです。

キャリアセンターでは、就職支援だけでなく、個々の学生に応じた進路支援を行うため、個別相談体制の強化を図るとともに、各種ガイダンスや講習等、さまざまなプログラムを実施しています。是非、学生諸君にはキャリアセンターを活用していただくよう願っています。

2010(平成22)年度卒業生進路決定状況

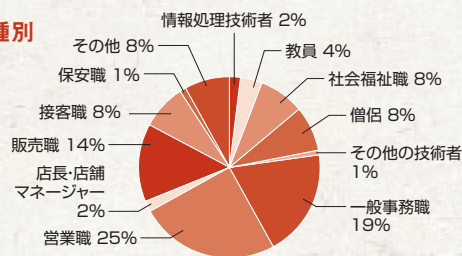
●●●文学部

卒業生	就職希望		進学		聴講生科目等	一時的な仕事に就いた者	左記以外
	就職者	就職活動継続	大学院	大学短大専修学校			
726	407	73	39	28	8	80	91

就職率= $\frac{\text{就職者}}{\text{卒業生}}$	内定率= $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望}}$
56.1%	84.8%

- 製造業
エンゼルプレイングカード製造(株)
(株)グラフィック
(株)ケービデバイス
三恵工業(株)
(株)シャトレーゼ
星和電機(株)
(株)TKX
ニチコン(株)
- 情報通信業
(株)インフォコム西日本
(株)関西テレビハップ
(株)JTEC
南都コンピュータサービス(株)
日本コンピュータサイエンス(株)
(株)リンクレア
- 運輸・倉庫業
新木産業(株)
(株)関西丸和ロジスティクス
(株)塚腰運送
西日本旅客鉄道(株)
郵便事業(株)
- 金融業
(株)京都銀行
(株)四国銀行
(株)福井銀行
きくに信用金庫
長野信用金庫
東海東京証券(株)
住友生命保険(相)
- 商社
石黒メディカルシステム(株)
京都青果合同(株)
(株)キンキコム
栗田出版販売(株)
(株)三笑堂
(株)ジャクエツ(ジャクエツグループ)
塚喜商事(株)
辻井木材センター(株)
ツルク電機(株)
ニシムラ(株)
ブリヂストンタイヤ北大阪販売(株)
ホシザキ京阪(株)
(株)三井田商事
- 宿泊・フードサービス
(株)王将フードサービス
(株)幸楽苑
- 小売業
アプライド(株)
(株)ユービーシー・マート
(株)キリン堂
クオール(株)
(株)クロスカンパニー
(株)ゲオ
(株)ジーフット
(株)ハートフレンド
(株)パロー
(株)ポイント
(株)ヨドバシカメラ
(株)リカーマウンテン
ロイヤルホームセンター(株)
- 住宅・不動産業
(株)エルアイシー
(株)京都ライフ
(株)山見住宅
(株)PGSホーム
(株)福屋工務店
- サービス業
(株)インテリジェンス
(株)学生情報センター
(財)京都府学校給食会
近畿日本ツーリスト(株)
京都農業(協)
京都中央農業(協)
奈良県農業(協)
郵便局(株)
- 医療・保健
(株)いしかかく
(医)社団恵心会京都武田病院
(医)社団千春会
- 福祉
(株)ケア21
(社福)七野会
(社福)びわこ学園
(社福)終野福祉会
ワタキューセイモア(株)
- 宗教
真宗大谷派宗務所
真宗大谷派名古屋別院
- 公務
関ヶ原町役場
愛知県警察本部
京都府警察本部

●●●就職決定職種別



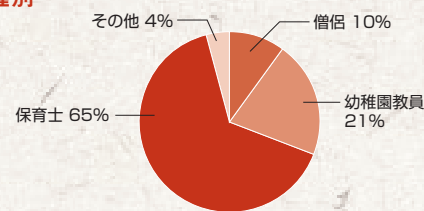
●●●短期大学部(仏教科・幼児教育保育科)

卒業生	就職希望		進学		聴講生科目等	一時的な仕事に就いた者	左記以外
	就職者	就職活動継続	編入	短大専修学校			
98	72	0	12	2	2	4	6

就職率= $\frac{\text{就職者}}{\text{卒業生}}$	内定率= $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望}}$
73.5%	100.0%

- 保育所
あやめ池保育園
伊勢田保育園
一乗寺保育園
いちのべ保育園
一里山ひかり保育園
稲荷保育園
- 幼稚園
上賀茂保育園
北野保育園
郡家保育園・親愛保育園
甲南のぞみ保育園
さみどり保育園
白菊保育園
- 幼稚園
どんぐり保育園
長浜愛児園
長浜学舎
長浜市職員(保育士)
南郷保育園
南浦保育園
- 幼稚園
のぞみ保育園
羽東師保育園
速水保育園
東野保育園
まこと幼児園
みねやま福祉会本部
- 幼稚園
明照保育園
モーザルトしずか保育園
陵ヶ岡保育園
わかば園
- 幼稚園
アソカ幼稚園
今宮幼稚園
近江八幡市役所(幼稚園教諭)
かもかわ幼稚園
さかいだに幼稚園
- 幼稚園
さかの幼稚園
七条幼稚園
紫明幼稚園
高倉幼稚園
寝屋川幼稚園
平川幼稚園
- 幼稚園
藤波幼稚園
朋来幼稚園
安井幼稚園
洛陽幼稚園

●●●就職決定職種別



大谷大学・大谷大学短期大学部 財務概況

2010年度決算

2010年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、2011年5月16日に開催の学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理されて

います。

また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」を作成し、文部科学大臣に届け出られています。

資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにするものです。

資金収入には、授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金等が含まれます。

資金支出には、学生の教育研究経費や教職員の人件費があります。今年度本格稼働した、図書館新システムの整備に関する経費は教育研究経費に含まれています。

管理経費には総務、経理、学生募集の広報に関する経費で、東日本大震災に対して、卒業・修了祝賀会等を中止した、その開催費相当額の義援金もここに含まれています。施設関係支出には、講堂で開催される講演会等のインターネット配信を可能にした機器更改や、トイレ改修等の環境改善経費などが含まれます。設備関係支出では、教育研究用機器備品や図書支出などが該当します。

消費収支計算書

消費収支計算書は、授業料や寄付金などの収入(帰属収入)と、施設・設備の減価償却額や資産除却額などを含む、その年度に消費する支出(消費支出)との内容及び均衡の状態を明らかにするものです。

貸借対照表

学校法人の目的である教育研究活動には、施設や設備など膨大な運用財産を必要とします。貸借対照表は財産保有の状況を表し、財産が適正に維持・管理されているかどうかを示すものです。

2011年度予算

今年度予算は、2011年3月15日開催の学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

今年度の予算編成においては、特に、人文情報学科全学生へのiPadの配布に伴う新たな教育プログラムの開始や、来年度の導入に向けたweb聴講登録機能の構築などに重点を置きました。また、来年度を迎える教育・心理学科には、支援体制の一層の充実を図って

まいります。

東日本大震災という未曾有の災害により、一段と厳しい社会・経済情勢の中で、一日も早い被災地の復興を願うとともに、あらためて仏教精神に基づく本学の建学の理念の具現化によって、充実した学生生活を送ることができるよう、教育研究の一層の拡充をめざして予算の執行に万全を期してまいります。

●●● 2010年度資金収支計算書(2010年4月1日～2011年3月31日) (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,971,956,500	人件費支出	2,558,925,361
手数料収入	126,767,530	教育研究経費支出	1,094,594,601
寄付金収入	177,360,000	管理経費支出	436,770,352
補助金収入	430,147,990	借入金等利息支出	23,331,000
国庫補助金収入	429,815,000	分担金支出	212,000,000
地方公共団体補助金収入	332,990	借入金等返済支出	111,100,000
資産運用収入	174,579,968	施設関係支出	74,033,710
資産売却収入	1,500,000	設備関係支出	145,524,801
事業収入	46,635,504	資産運用支出	503,266,367
雑収入	84,664,617	その他の支出	60,666,550
前受金収入	736,593,500		
その他の収入	222,389,383		
資金収入調整勘定	△ 789,580,857	資金支出調整勘定	△ 100,735,937
前年度繰越支払資金	7,198,410,233	次年度繰越支払資金	7,261,947,563
収入の部合計	12,381,424,368	支出の部合計	12,381,424,368

●●● 2010年度消費収支計算書(2010年4月1日～2011年3月31日) (単位 円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	3,971,956,500	人件費	2,564,871,272
手数料	126,767,530	教育研究経費	1,649,573,222
寄付金	189,585,600	(うち減価償却額)	(553,690,503)
補助金	430,147,990	管理経費	459,806,829
国庫補助金	429,815,000	(うち減価償却額)	(22,352,321)
地方公共団体補助金	332,990	借入金等利息	23,331,000
資産運用収入	174,579,968	分担金	212,000,000
事業収入	46,635,504	資産処分差額	4,081,169
雑収入	114,382,799	徴収不能引当金繰入額	36,000
		消費支出の部合計	4,913,699,492
帰属収入合計	5,054,055,891	当年度消費支出超過額	192,977,527
基本金組入額合計	△ 333,333,926	前年度繰越消費収入超過額	3,759,409,820
消費収入の部合計	4,720,721,965	翌年度繰越消費収入超過額	3,566,432,293

大谷大学・大谷大学短期大学部 2010年度事業報告

主要な事業

大学運営体制の検証と仕組みづくり

今般、「真宗大谷学園存立の精神」が示されるとともに、本学におけるグランドデザインの策定をすすめました。2010年11月初旬には「グランドデザイン検討準備会」を設置し、本学の将来構想の骨子の検討を開始しました。「教育」「研究」「社会貢献」「大学運営」の4つの部会を設置し、3月末に「グランドデザイン骨子(素案)」を取りまとめました。

教育及び学生支援に関する事業

①カリキュラムの点検、見直し

昨年策定された「学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」「入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)」をホームページ上で社会に公表しました。これら3つのポリシーを踏まえた形で、「学士課程教育検討会」をたちあげ、昨年度から検討をすすめていた「学士課程教育」の可視化をさらに進めました。加えて、今年度は義務化されたキャリア教育の視点も踏まえた形で「大谷大学『学士課程教育』の内容」をまとめ教授会に提示しました。

②教育・心理学科学生の教育研究支援

ピアノに関する教育実習や採用試験に向けてのサポートとして、アシスタント教員によるピアノ指導を実施し、学生には、ピアノレッスン室を開放し、個人練習に活用しています。

履修等のサポート体制では、4号館に4名の専任教員の個人研究室と教職支援センターを設置し、学生が授業や採用試験、各種ボランティアに関する相談がしやすい環境となり、学生に対してきめ細かく目の行き届いた履修相談や指導体制を整えることができました。

③教職支援センターの充実

4号館に設置した教職支援センターでは、教職課程(中専科・初専科教職課程、神戸親和女子大学通信教育部との通信教育による小学校教員免許取得課程)の窓口一元化が周知され、教員を目指す学生への履修相談だけでなく、ボランティアや採用試験対策など充実したサポートが可能となりました。

④国際化教育の取り組み

中国、イギリス、韓国、インド、ドイツへ、語学研修や文化研修等で122名の学生を派遣しました。また修士課程に8名、博士後期課程7名、文学部に1名、留学研究生18名、合計34名の留学生を受け入れたほか、本学学生を韓国の東國大学校、中国の南京大學、上海交通大学、チベット大学、南開大学、厦門大学、首都師範大学、東北師範大学、浙江財経学院、オーストラリアのディーキン大学、フランスの国立高等研究院、カナダのオカナガンカレッジに送り出しました。

⑤入学前教育の拡充

専願制の入学制度(自己推薦入試・指定校制推薦入学制度)では全て入学前教育を行い、課題図書や特定の課題についてのレポート提出とスクーリングを実施しました。

⑥課外活動支援の強化

2010年度は、1回目を7月7日(水)に「アフリカ音楽の夕べ&オスマン・サンコン氏講演会「ギニアと日本」」を開催しました。また2回目を12月1日(水)にアジア映画プロモーター且匡さんの解説&マレーシア映画「ムアラフ改心」を上映しました。

⑦学生の進路就職支援

関東、北陸を含め164社に対して企業訪問を行い、求人確保とともに人事制度や求める人材像などの情報を収集し、さらにキャリアアドバイザーを昨年よりも2名増員し、きめ細かな個別相談を実施しました。

また、就職システムに登録している学生に対しメール配信によって必要な支援を行い、第1学年から受講できるキャリア支援として、簿記検定対策講習及びキャリア総合プログラムを新たに開講し、マイクロソフトスペシャリスト対策講習については、2講座増やして開講しました。

学術及び研究に関する事業

①学位授与

優れた研究業績をまとめ、博士の学位申請を行った者の中から厳密な審査を経て、2010年度は課程博士8名、論文博士2名、合計10名に対して博士(文学)を授与しました。

②真宗総合研究所の研究

大学が主体となり、組織として責任を果たす指定研究として、(1)大谷大学親鸞聖人750回御遠忌記念特別指定研究-親鸞像の再構築-(2)国際仏教研究(3)西藏文献研究(4)大谷大学データベース研究(5)真宗同朋会運動研究の5件と、資料室として「大谷大学史資料室」と「真宗本廟(東本願寺)造営史資料室」の2件、一般研究として採択された共同研究9件、個人研究12件の研究プロジェクトを推進しました。

③外部資金による研究活動

本学では、真宗総合研究所を中心に外部資金による研究活動の推進に取り組んでいます。2010年度科学研究費補助金の採択結果は、本学教員を研究代表者とする研究では、基盤研究が10件、若手研究が2件、研究活動スタート支援3件(継続分を含む)でした。また、10名の教員が科学研究費補助金の研究分担者として他機関の研究代表者と共に活躍しています。

その他に、本学教員と株式会社KDDI研究所とのインターネットの通信品質についての共同研究が2年目に入り、人文情報学科の学生の参加も望まれています。

組織及び施設に関する事業

①認証・評価結果を契機とした大学改善の推進

大学基準協会は、内部質保証システムの構築をコンセプトとする新評価基準を発表しました。新評価基準の学習を進めると共に、2012年7月末に提出を義務付けられた「改善報告書」をまとめるために、改善達成状況の検証に取り組みました。

②講堂の音響・録音・録画設備を情報配信に対応した機器への更改

講堂の録画設備を、アナログからデジタルに移行するために機器の代替工事を実施し、録画用カメラも後方1台から前方にも2台増設しました。録画設備をデジタル化したことにより、講堂での行事等の情報発信の可能性が大きく前進しました。

社会への開放に関する事業

①インターネットを活用した大学全体の広報活動の推進

インターネットを活用した情報発信の強化及びその統合に向けて、各学科のページや、教員個別のページの充実などの作業を進めました。

また昨年に引き続きHPの客観的な評価分析を行うために外部機関による診断・評価結果を受け、昨年全国12位相当であった評価が、全国11位へと評価を上げました。

②公開講座の開講

2010年度は、開放セミナー3講座、紫明講座9講座、京都学講座1講座(龍谷大学と連携)、京カレッジ京都力養成コース1講座を開催し、計666人の受講生がありました。本年度は、講座終了後のカフェでの座談会や、講座と連動したギャラリー展示などあらたな試みに取り組みました。

③博物館

毎年、年1回の特別展と4回の企画展を実施しています。特別展では、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌を迎えるにあたり、2010年から2012年の3年連続で親鸞聖人をテーマとする展示を企画しました。その初年である2010年度特別展では、「親鸞 ―その人と生涯―」と題し、親鸞聖人に関わる法宝物を真宗大谷派ほか関係機関より借用し展示しました。さらに、特別展会期直前に発見された親鸞聖人の直筆資料を所蔵者のご厚意により借用し展示することができました。

教育後援会だより

父母兄姉懇談会について

「父母兄姉懇談会」は、教育後援会役員ならびに大学当局のほか、各関係事務部門の職員が出席して、大学の現状を説明し、個別の相談にも応じる懇談会です。また、大学出席者と保護者とのコミュニケーションを密にするとともに、保護者の皆様相互の親睦を図っていただくため、懇親会も併せて開催いたしております。

本年度は、7月に地区父母兄姉懇談会を北海道地区にて、また、9月に全国父母兄姉懇談会を本学にて開催いたしました。各会場とも、個別相談コーナーでは熱心な相談が寄せられ、懇親会ではなごやかな雰囲気の中交流が深められました。

なお、今後の開催につきましては下記のとおりです。今後開催されます当該地区の皆様には、多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

◆四国地区父母兄姉懇談会

四国地区 父母兄姉懇談会	12月3日(土)	ロイヤルパークホテル高松 (香川県高松市)
	12月4日(日)	高知サンライズホテル (高知県高知市)

教育後援会評議員会が開催される

6月29日(水)13時30分より、大谷大学において教育後援会評議員会が開催されました。

評議員会では、議事に先立ち、事務局より東日本大震災の被害状況・大学ならびに教育後援会の対応等について報告いたしました。続いて、2010年度の事業報告・決算報告の後、役員を選出を行い、2011年度の事業計画・予算(案)等の審議がなされ、承認されました。

また、大学側(草野顕之学長、門脇健学監・文学部長、古川哲史学生部長)からは、大谷大学の教育方針、教育・研究活動の現況や、在学生の学生生活指導等について説明がなされました。

なお、詳細につきましては、8月に保証人の皆様に送付いたしました『大谷大学教育後援会報告書』をご高覧ください。



教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人(父母兄姉等約4,000名)が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互並びに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催して様々な事業計画を企画・推進しています。

教育振興資金(募金)について

このたびは、教育振興資金局の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

また、本学は文部科学省から「特定公益増進法人」の認可を受けています。これらの寄付金には税法上の優遇措置(減免税措置)が受け

られます。

今後も引き続き、募金のお申込を受付けておりますので、ご支援賜わりますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

なお、2011年2月1日から2011年7月31日までの間、ご寄付いただいた方々のご芳名は次のとおりです。厚く御礼申し上げます。

●●● 教育振興資金寄付者(敬称略)

池田 誠(大阪府)
太田 秀行(愛知県)
岡野 伸明(京都府)
加藤 博文(愛知県)
北澤 盛輝(奈良県)
桑原 英世(栃木県)
高源 彰(北海道)
小林 正夫(茨城県)
近藤 昌丸(兵庫県)

園原 信行(大阪府)
武田 暁(大阪府)
田中 明(滋賀県)
二宮 建(鳥取県)
野瀬 繁和(滋賀県)
橋川 昌治(京都府)
橋本 一哉(兵庫県)
長谷岡 英信(京都府)
日野 康宣(愛知県)

堀川 禎暢(京都府)
松本 浩三(京都府)
観山 法之(長崎県)
邨上 了圓(兵庫県)
森 真理子(三重県)
山岡 政明(岡山県)
山田 展夫(兵庫県)
脇本 ゆかり(愛知県)
匿名(2名)

NPO法人尋源舎(京都府)
(有)石間企画事務所(東京都)
(株)フラットエージェンシー(京都府)
願成寺[泉 敬止](北海道)
浄玄寺[櫻井 之貫](愛知県)

◆ 件数 33件
◆ 寄付金総額 4,460,000円

●教育振興資金(募金)のお問い合わせについては、下記までご連絡ください。

教育振興資金事務局

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学総務部校友センター内
TEL: 075-411-8124 FAX: 075-411-8157 E-mail: kouyu@sec.otani.ac.jp

「人生のよりどころ」

今年の3月11日、私たちは未曾有の大震災を経験した。地震とそれに伴う災害により多くの方の命が失われ、未だ行方不明のままの方がおられる。避難所、仮設住宅や自宅で余震や原子力発電所の事故による影響に不安を抱え日々の生活を送る多くの方、また、原発事故の最前線という過酷な状況下で事態の収束に臨んでいる方がおられる。復興には少なくとも数十年が必要と言われているが、大切な何かを失った人の悲しみ、不安を抱え日常生活を送る人の苦悩に對し、何をもって本当の復興とするのかを考える時、さらに長い時間が必要なのだとも思われる。

この度の原発事故は、想定外の規模の地震と津波により、絶対的安全性を誇る施設が事故に見舞われた、と語られる。想定が甘かったのだろうか。そうではない。私たちは人間の知恵に基づく「想定」は決して確かな人生の依り処とはならないのであり、人間の知恵に根拠をもって語られる「絶対的安全性」は私たち人間のおこりの象徴に他ならないことを物語っているのである。

今、エネルギー問題を中心とした社会構造の变革が叫ばれ、模索されている。しかし、様々な社会問題を生み出し続ける人間自

身の生き方が問われ、変革することがなければ、決して根本的な事態の解決には至らないのではないか。国や地方行政、関連企業の対応に問題があることも事実であろう。だが、事態を外から傍観し、その批判にのみ終始するあり方もまた、自身を是とする立場に置く人間の傷ましい姿ではないか。このような人間のあり方を「無明」と見抜いた仏教の智慧は、私たちの生きる道を照らす灯明であると言えよう。

本学初代学長の清沢満之は、仏教の智慧に照らされて生きる人の生き方を「すべてのいのち、あらゆる物事との繋がりを生きる自分に目覚めた人は、他者の痛み苦しみを自らの痛み苦しみと知り、他者の喜びを自らの喜びと知ることによって、この上なく豊かな人生を生きていくのである」と言う。

私たち一人ひとりが何を生きる依り処とし自らの人生をどう生きるのか。今、あらためてそのことが問われているように思う。



講師 短期大学部仏教科 西本 祐 撮影
専門分野／真宗学

時代を照らす仏教のことば

よるずのこと、
みなもって、
そらごとたわごと、
まことあることなきに、
ただ念仏のみぞまことに
おわします。

『歎異抄』(真宗聖典)640頁

解説文はこちら → 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/0807>

編集後記

表紙の写真は、博綜館の第1会議室の一角に描かれている尋源館です。ここには、建築当時、つまりは「本来の姿」の尋源館が描かれています。これを見ると、私の本来の姿もどこかに描かれているのだろうか、そんな思いが湧いてきます。

(編集担当)

